

授業科目

理学療法ゼミI

担当教員名 古西 勇 (他23名)	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	○

授業の概要

4年次の科目である卒業研究と臨床実習IIIに向けての準備段階として、および専門基礎分野の知識の確実な修得を促すため、各担当教員のアドバイスを受けながら主体的なゼミ活動を通して、研究と臨床の基礎を学ぶ。ゼミは希望する研究テーマを考慮して1ゼミ10人以内程度で構成される。

授業の目的

卒業研究に向けて具体的に研究計画の作成や予備実験を行い、臨床実習のための技能と専門基礎分野の知識を修得する。

学習目標

1. 卒業研究の研究テーマの決定（理学療法の領域であること）、先行研究の文献や資料（英語の文献を含む）の検索・収集、文献抄読、研究計画の作成、予備実験などを行い、開講時期終盤の中間発表会に向けて計画を練り上げる。
2. 臨床実習II（評価実習）で各人が学んだことをゼミ内で共有し合い、検査測定評価や動作分析、基本介入手段、各領域の治療についての幅広い「思考」と「技術」を身につけ、4年次の臨床実習III（総合実習）に臨めるように準備する。
3. 理学療法学生としての基礎知識の習得を確実にするため、グループ学習により自主学習の習慣を強化する。
4. 学生間で学びあひながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
1	先行研究の文献や資料の検索・収集、文献抄読、機器使用の練習	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
2	先行研究の文献や資料の検索・収集、文献抄読、機器使用の練習	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
3	先行研究の文献や資料の検索・収集、文献抄読、機器使用の練習	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
4	先行研究の文献や資料の検索・収集、文献抄読、機器使用の練習	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
5	先行研究の文献や資料の検索・収集、文献抄読、機器使用の練習	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
6	先行研究の文献や資料の検索・収集、文献抄読、機器使用の練習	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
7	先行研究の文献や資料の検索・収集、文献抄読、機器使用の練習	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
8	先行研究の文献や資料の検索・収集、文献抄読、機器使用の練習	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
9	研究テーマの決定、研究計画の作成、予備実験	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
10	研究計画の作成、予備実験	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
11	研究計画の作成、予備実験	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
12	研究計画の作成、予備実験	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
13	研究計画の作成、予備実験	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
14	研究計画の作成、発表の準備	グループ学習・ゼミ担当教員の指導による
15	卒業研究中間発表会	他のゼミの学生と担当教員と合同で

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	新潟理学療法学（卒研論文集） 第1巻（H16）～第13巻（H28）					最新の巻を配布（巻末に論文規程あり）
その他の資料						

評価方法

ゼミ活動への貢献度、卒業研究中間発表会に向けての取り組み。

履修上の留意点

1. <分野紹介> 新3年生のオリエンテーションにおいて各配属分野（lab、ラボ）の紹介を行う。
2. <面談期間（約2週間）> 理学療法ゼミを履修する学生は、各配属分野の紹介の内容を参考に、興味・関心のある分野の教員のところへ伺い、自分で考えている研究テーマについて面談をする。
3. <登録期間（約2週間）> 面談期間終了後、学生は希望する分野の教員にエントリーシートを提出する。エントリーシートが教員に受理されれば、その分野に配属が決定する。教員の承認が得られなかった場合は、次に希望する分野の教員のところへ随時エントリーシートを提出し、最終的に承認が得られた分野に配属が決定する。詳細は、オリエンテーションにて説明する。

オフィスアワー・連絡先

研究室 E201b、メールアドレス<konishi@nuhw.ac.jp>、オフィスアワー 月～金の8:30～18:30（授業や会議で不在の場合があるので、事前に連絡を）。